

第21回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成 21年2月

応募者名:長野県 松本市 建設部

事業の名称:松本駅周辺交通施設整備事業

実施都市名:松本市

事業目的

松本駅周辺は、日常交通だけでなく、観光・憩いの場として様々な利用者が集中する地区ですが、整備前は東口は交通施設が飽和状態で安全性・快適性などの機能が十分でなく、西口は、都市基盤整備の遅れや東西交通の分断によりまちの発展性が阻害されていました。

今回、自由通路や駅前広場などの整備により、駅周辺の交通結節機能の強化と東西のまちの発展・一体化の向上を図ります。

事業概要

事業名：松本駅周辺交通施設整備事業

路線名：松本駅東西自由通路、松本駅西口線他

事業箇所：松本市 深志一丁目、巾上

施設概要：自由通路 L=110m W=10～15m

都市計画道路 L=273m W=18～22m

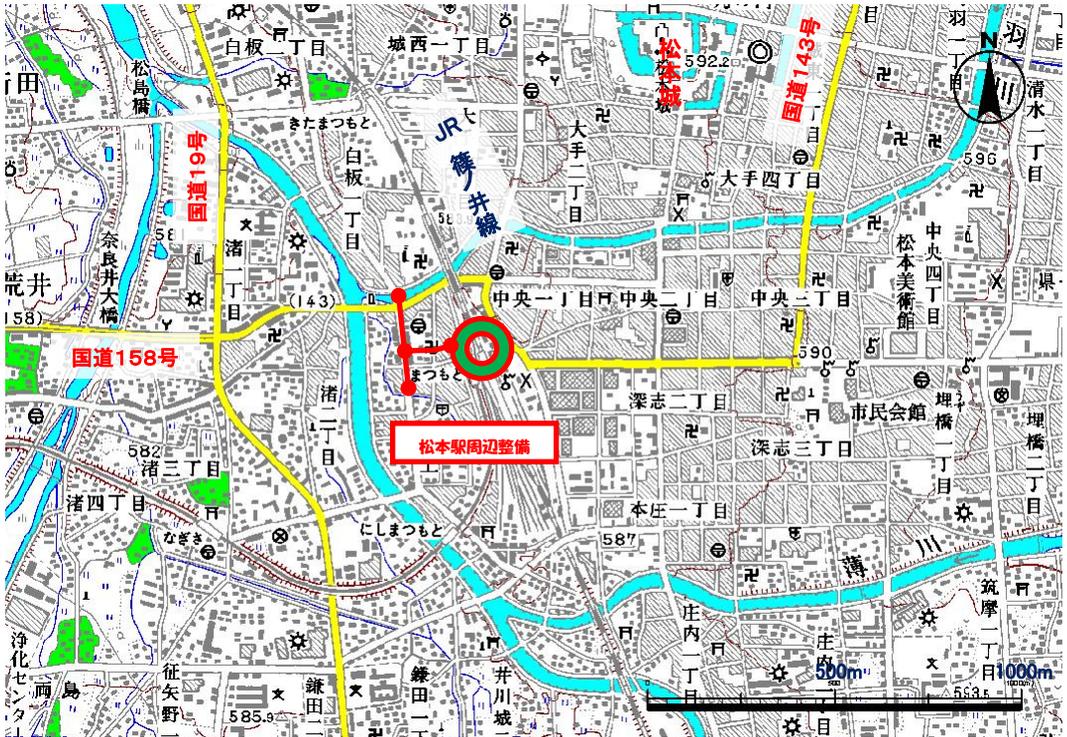
アルプス口(西口)駅前広場 6,880㎡

総事業費：約103億円

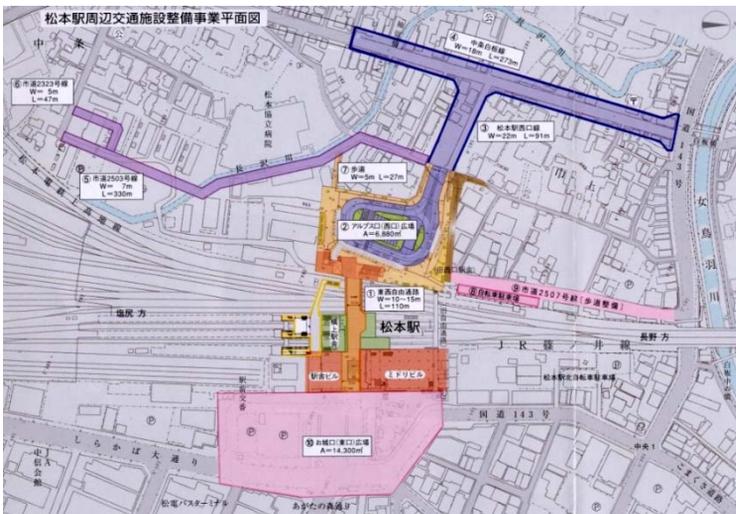
事業期間：平成13年～平成19年

本事業は、東西を連絡する自由通路を設置し、これに合わせた西口広場の新設と東口広場の再整備により、東西広場の連携強化と機能分担を図ることとしました。実施にあたっては、超高齢社会や福祉社会に対応したユニバーサルデザインに配慮し、賑わいとゆとりのある幅広い機能と空間の確保に配慮しました。

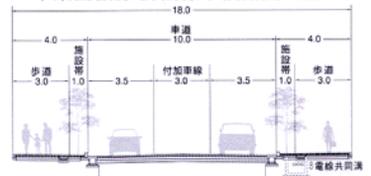
事業位置図



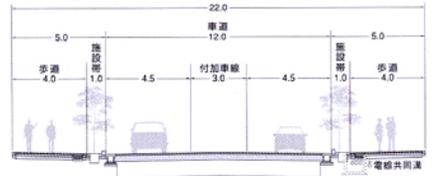
全体図(平面図・側面図・横断面図)



中条白板線 計画標準横断面図 (単位: m)



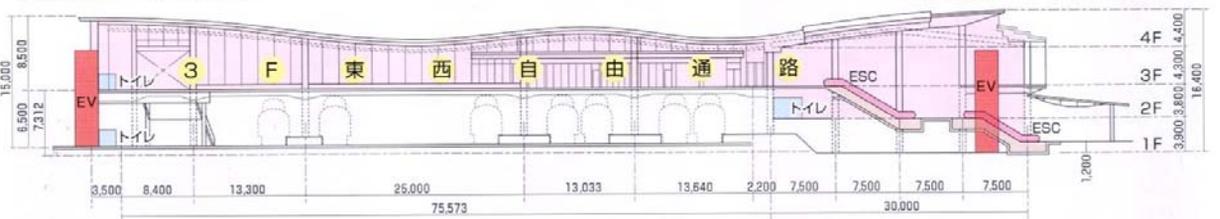
松本駅西口線 計画標準横断面図 (単位: m)



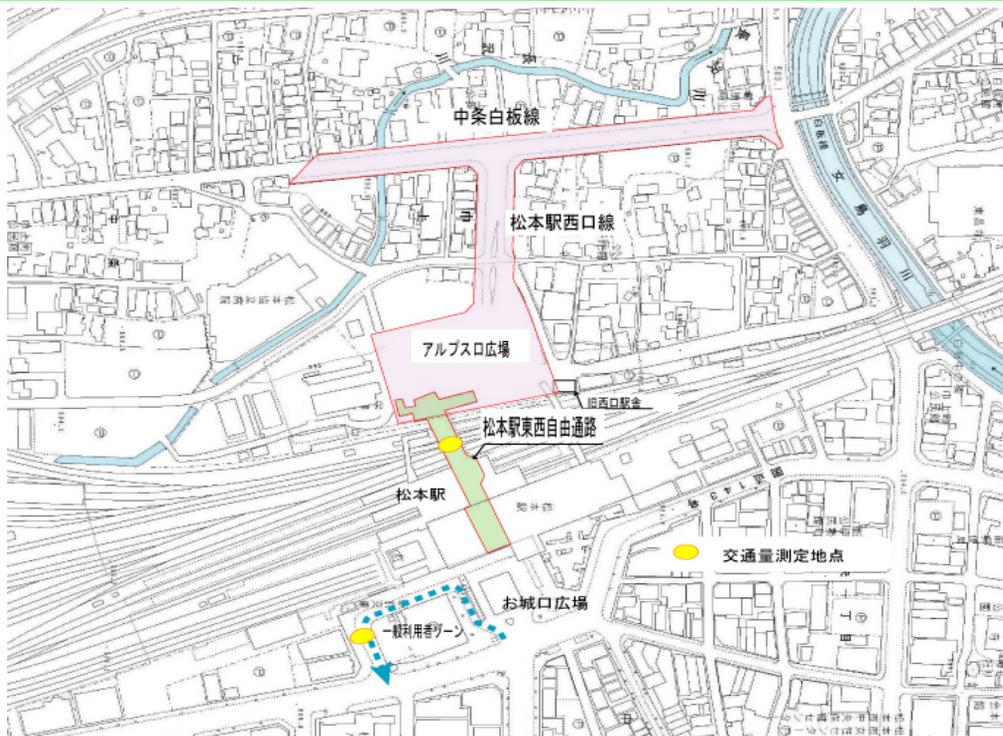
松本駅東西自由通路「西口」

東西方向断面図 (単位: mm)

松本駅東西自由通路「東口」



松本駅周辺の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 松本駅周辺交通施設整備事業

路線名: 松本駅東西自由通路他2路線

事業箇所: 松本市深志1丁目、巾上

事業概要: 松本駅東西自由通路

L=110m W=10~15m

都市計画道路

L=273m W=18~22m

総事業費: 約103億円

事業期間: 平成13年度~平成19年度

○松本駅周辺利用者数の推移

・自由通路西方向歩行者数(人/日)

供用前 3,397人(平成15年9月)

供用後 8,714人(平成20年3月)

5,317人増

・お城口広場一般車利用台数(台/日)

供用前 1,659台(平成15年9月)

供用後 1,307台(平成20年9月)

352台減

◎松本駅西側からの利用者 2.5倍増

◎西口開設により東口利用者が減少

「整備効果」

- 西口広場一般車利用の増
0台 → 47,000台/年(推計)
- 東口周辺交通量約20%減

「その他の事業効果」

- ユニバーサルデザインに配慮した施設
 - ・ EV、ESCを設置し段差に配慮
 - ・ 案内に音声誘導などを導入
 - ・ 多目的トイレ設置
 - ・ 広場へシェルターの設置
 - ・ 歩道の段差解消(セミフラット)
- 景観、環境への配慮
 - ・ 太陽光発電施設設置(30kw)
 - ・ 電線類地中化工事



事業前:H15. 9



事業後:H19. 9



事業前写真

平成15年9月撮影



平成15年10月撮影



平成14年11月撮影



事業後写真

平成19年9月撮影



平成19年4月撮影



平成19年6月撮影

